

4・5歳から 楽しめる絵本



……おはなしを楽しめるようになったら……
おすすめの94冊



あくび

中川ひろたか 作 飯野和好 絵 文溪堂

イノ

「あくび」って、人がしているとついつうつてしまいます。初めてかばが大きな口であくびをしました。それを見たきりんにあくびがうつり、ぞうやババ、ママ、そしてほくにもうつっていきます。

あしたうちにねこがくるの

石津ちひろ 文 ささめやゆき 絵 講談社

ササメ

うちでねこを飼うことになりました。明日、ママのお友だちが連れてきてくれます。いったいどんなねこなのでしょう。かわいいねこならいいなあ。でも、もしもこんなねこだったら……。子どもの期待と不安が伝わる絵本です。



雨、あめ

ピーター・スピア 評論社

スピア

これは字のない絵本です。雨の日に外へ出かけていった女の子と男の子が、楽しく遊びまわります。この本を見ていると、耳に雨が降ってくる音、渦を巻いて流れていく音が響いて来て、雨の中で遊びたくなってきます。

ありこのおつかい

いしいももこ さく ながかわそうや え 福音館書店

ナカカ

ありのありこは道草をして、かまきりに飲みこまれてしまいます。そしてかまきりはむくどりの、むくどりはねこの、ねこはくまのお腹の中へ。くまのお母さんがおしりをたたたくと、飲みこまれた動物たちがとびだしてきました。



イエベはぼうしがだいすき

石亀泰郎



イエベはぼうしがだいすき

石亀泰郎 文化出版局

イシカ

イエベは、デンマークのコペンハーゲンに住む3歳の男の子。帽子が大好きで、どんなときでもかぶっています。みんながからかうので、ある日帽子をかぶらずに保育園へ行きました。でも、なんだか調子が出なくて……。

いたすらきかんしゃちゅうちゅう

バージニア・リー・パートン ぶん・え
むらおかはなこ やく 福音館書店

ハトン

機関車ちゅうちゅうは、客車や貨車を引っぱって、駅から駅へと走っています。ある日、ひとりで走ったらもっと速く走れるだろうと思ひ、自分だけで走りだしてしまいました。踏切も信号も無視し、野を超え山超え……ついに古い路線に入り込んでしまいました。



うごいちゃだめ!

エリカ・シルヴァマン ぶん S.D.シンドラー え
せなあいこ やく アスラン書房

シント

あひるとがちょうは「どっちがいちばん」の比べっこをしていて、「じつと動かない方が勝ち」競争を始めました。そこへきつねがやってきて……早く逃げないとシチューにされてしまう!手に汗握る展開に、最後までハラハラドキドキの連続です。

うちしたのはだれよ!

ヴェルナー・ホルツヴァルト 文
ヴォルフ・エールブルッフ 絵 関口裕昭 訳 偕成社

エアル

ある日のこと、地面から顔を出したもぐらくんに事件がおこります。「だれだ、ぼくの頭にうんちなんかにしたやつは?」さっそく犯人さがしです。いったいだれが、こんなわるさをしたのでしょうか。



おかあさんがおかあさんになった日

長野ヒデ子 作 童心社

ナカノ

あかちゃん、こんにちは、おかあさんよ。あなたのおかげで、わたしはおかあさんになれたのよ……。入院して、オギャーと生まれてくるまでが描かれています。あなたの生まれた日、それはおかあさんがおかあさんになった日なのです。

おかあさんだいすき

光吉夏弥 訳・編 まーじょりー・ふらっく 文と絵 岩波書店

フラツ

今日は、おかあさんの誕生日です。だにーは、おかあさんにあげるものを見つけに出かけます。初めはめんどり、次はがちょうに相談し、最後は森のくまさんにたすねます。くまさんはどんなことを教えてくれたのでしょうか。

